

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アテツ石灰化工株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 719-2551 岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1
----	----------------------------	----	---

本票作成	部署名：技術課
------	---------

主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	生石灰製造業
-------	--------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	アテツ石灰化工(株)井倉工場	岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	60,890 t CO ₂	66,857 t CO ₂	60,236 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	アテツ石灰化工(株)井倉工場	66,857 t CO ₂
			エネルギー起源 16,212 t CO ₂
			非エネルギー起源 50,645 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度	～	平成 26 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.2 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生石灰 生産量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		945.0 kg CO ₂ /(tCaO)	975.3 kgCO ₂ /(tCaO)	936.0 kgCO ₂ /(tCaO)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成26年度は平成25年度と比較してC重油の使用量が年末年始など燃料の納入事情により低減できていないが、再生油の混焼率を上げたことによりエネルギー起源のCO₂排出量を低減できた。生石灰の原料である石灰石の計量機を校正した結果、非エネルギー起源CO₂排出量の原単位で見ると、過去数年に比べ4～5%増加した。引続き平成27年度も操業時に無駄なエネルギーを使用しないように熱原単位を管理し、排出量削減に努める。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づく省エネルギー推進体制を整備
- ・社長をエネルギー管理統括者とし、エネルギー企画推進者、エネルギー管理者を選任し、省エネルギーを推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
アテツ石灰化工（株）井倉工場	<p>(26年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 再生重油の混焼率をあげて、C重油の使用量を下げる。2. 熱原単位を適正に管理する。(次年度も継続する。) <p>(今後実施予定分)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 小炉修で燃焼室を中心に築炉材を更新する。2. 受変電設備の変圧器を高効率変圧器に更新する。3. 工業用水の使用量の見直しを行いポンプ運転時間を短縮する。4. ファンモータを高効率モータへ更新する。5. 高圧電動機のインバータ化を実施し電力削減を図る。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--